

3. 保健・福祉施設

3-1. 高齢者福祉施設

(1) 施設の概要

高齢者の福祉ニーズに応じた各種事業の提供等を総合的に行い、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れることを支援し、もって高齢者の福祉の増進を図るための施設です。

■ 保有施設

高齢者福祉施設は全 4 施設（延床面積 6,930 m²）を保有しています。このうち、高齢者福祉開発推進センター、地域福祉センターでは通所介護サービス、行基ハイツでは入所介護サービスを提供しています。

表 施設一覧

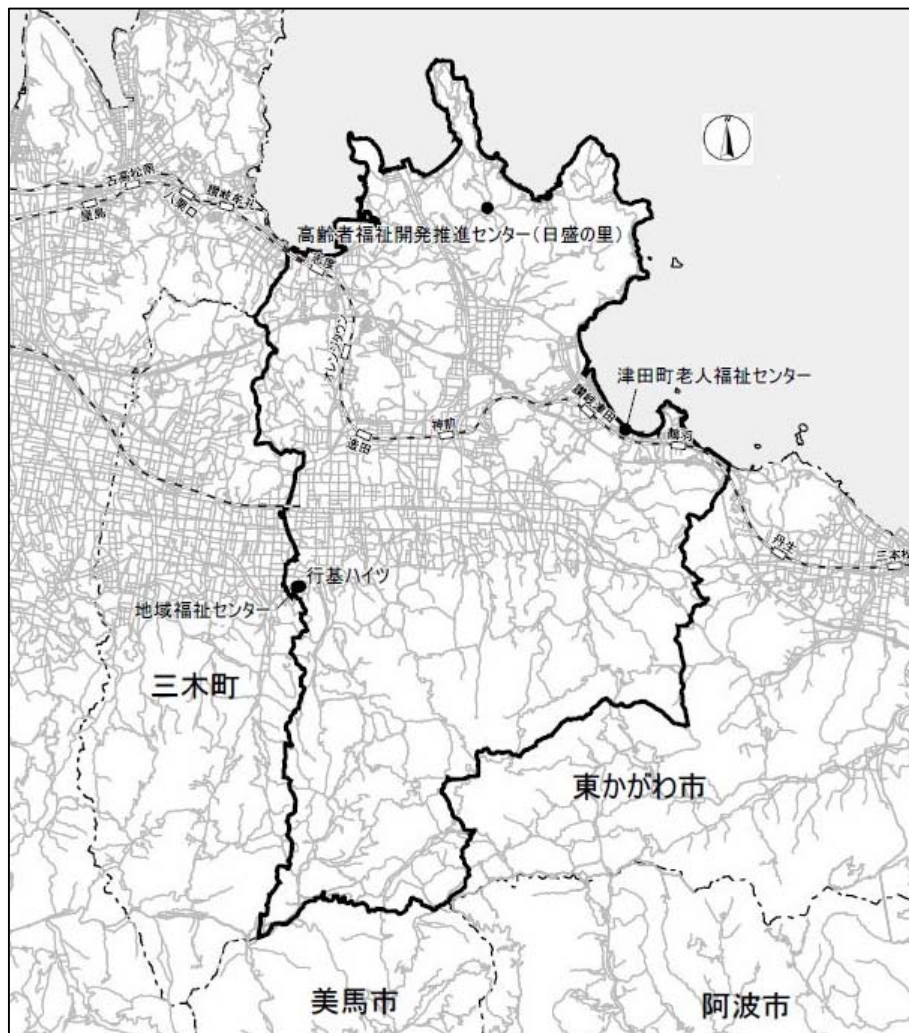
施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積(m ²)		建築年	経過 年数 ^{※1}	運営方法
津田町老人福祉センター	旧津田町	長寿障害福祉課	単独施設	880	6,930	昭和56年	32	指定管理
高齢者福祉開発推進センター (日盛の里)	旧志度町	長寿障害福祉課	単独施設	3,331		平成14年	11	指定管理
地域福祉センター	旧長尾町	長寿障害福祉課	単独施設	1,195		平成4年	21	指定管理
行基ハイツ	旧長尾町	長寿障害福祉課	単独施設	1,524		平成4年	21	指定管理

※1 経過年数：平成 25 年を基準年として算出している。

■ 配置状況

4 つの高齢者福祉施設が市内に分散して配置され、地域福祉センターと行基ハイツは同一の敷地内に配置されています。

図 施設配置

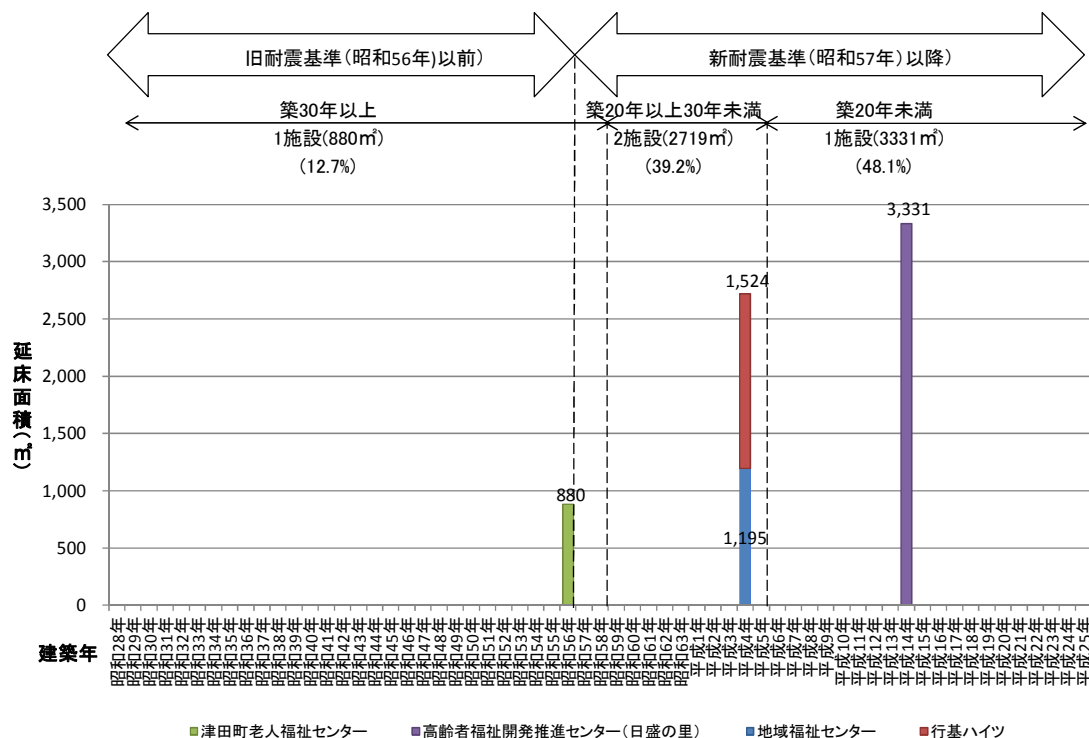


(2) 建物状況

■ 老朽化

築30年以上経過した施設が1つ（津田町老人福祉センター）、築30年未満の施設が3つ（高齢者福祉開発推進センター、地域福祉センター、行基ハイツ）となっています。

図 築年別整備状況



■ バリアフリー化、環境負荷低減

全ての施設でバリアフリー化へ対応済みです。環境負荷を低減させる設備等の導入は進んでいません。

表 機能改善等の状況

		津田町老人福祉センター	高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	地域福祉センター	行基ハイツ
アスベスト対策		不要	不要	不要	不要
バリアフリー化	身障者用トイレ	●	●	●	●
	車いす用スロープ	●	●	●	●
	自動ドア	●	●	●	●
	手すり	●	●	●	●
	点字ブロック	×	×	×	×
	車いす用エレベーター	×	●	●	●
環境負荷低減	自然エネルギー活用施設	×	×	×	×
	屋上緑化・壁面緑化	×	×	×	×

※ 「●…あり」、「×…なし」を表している。

(3) 利用状況

■ 利用者数、利用件数

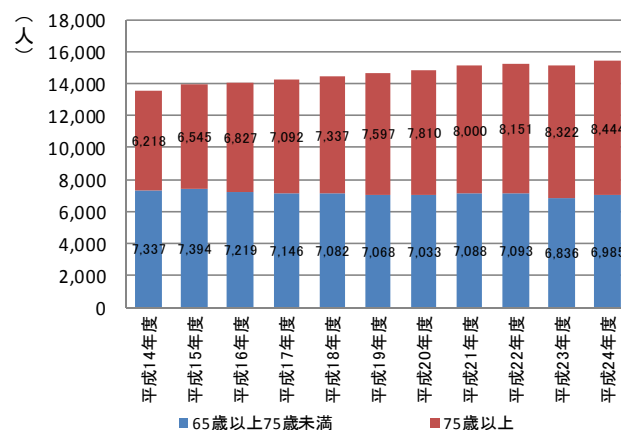
平成 24 年度の高齢者福祉施設全体の年間利用者数は約 4 万 3 千人でした。施設別には高齢者福祉開発推進センターが約 2 万人と最も多く、次いで地域福祉センターが 1 万 2 千人の順になっています。

表 利用者数・利用件数

施設名称	年間 運営日数	年間 利用者数	1日当たり 利用者数
	日	人	人/日
津田町老人福祉センター	245	963	4
高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	307	20,126	66
地域福祉センター	307	11,689	39
行基ハイツ	365	10,220	28

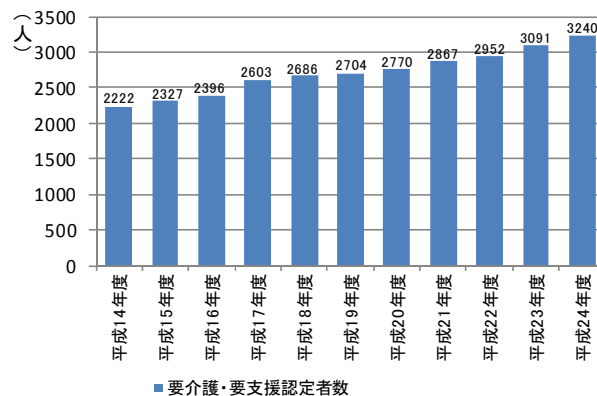
さぬき市の高齢者人口は年々増加し、平成 24 年には 15,429 人で、このうち 75 歳以上の後期高齢者は 8,444 人になっています。高齢者人口の増加に伴い、介護や支援を必要とする高齢者（要介護・要支援認定者）も増加し、平成 24 年には 3,240 人となっています。

図 高齢者人口の推移



出典：さぬき市統計全書（平成 25 年 3 月）を引用して作成

図 要介護・要支援認定者数の推移



出典：さぬき市統計全書（平成 25 年 3 月）を引用して作成

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

津田町老人福祉センター、高齢者福祉開発推進センター、地域福祉センターの3施設は平日（一部土曜を含む）の昼間のみ開館していますが、行基ハイツは夜間（21時まで）や休日にも利用可能です。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開館時間	閉館時間
津田町老人福祉センター	指定管理	245	土・日・祝日・年末年始	8:30	17:15
高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	指定管理	307	日・年末年始	8:30	17:15
地域福祉センター	指定管理	307	日・年末年始	8:30	17:15
行基ハイツ	指定管理	365	無	6:00	21:00

■ 運営人員

全ての施設が指定管理者制度で運営されています。運営人員は、津田町老人福祉センターでは2名、行基ハイツでは9名と少なく、その他の施設では多くの職員等により高齢者向けの福祉サービスを提供しています。

表 運営人員

施設名	職員 (常勤)	嘱託職員 (非常勤)	臨時職員	委託職員	合計
津田町老人福祉センター	0.1	0.0	0.0	2.0	2.1
高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	0.1	0.0	0.0	88.0	88.1
地域福祉センター	0.1	0.0	0.0	78.0	78.1
行基ハイツ	0.1	0.0	0.0	8.5	8.6

※ 職員（常勤）の緑色数字は、行政評価調書に基づき按分した人数としている。

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

地域防災計画では4つの高齢者福祉施設のうち、高齢者福祉開発推進センターが避難場所に指定されており、冷暖房設備や調理設備など、避難生活をサポートする機能が備わっています。

表 防災設備状況

		津田町老人福祉センター	高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	地域福祉センター	行基ハイツ
耐震性	耐震診断(1次)	不要	不要	不要	不要
	耐震診断(2次)	不要	不要	不要	不要
	耐震補強	不要	不要	不要	不要
位 計 地 置 画 域 づ で 防 け の 災	避難場所	×	●	×	×
	計画収容人数(人)	—	50	—	—
避難場所機能	代替電源設備	×	●	×	×
	通信設備	×	×	×	×
	調理設備	×	●	×	×
	冷暖房設備	×	●	×	×
	入浴施設	×	●	×	×
	備蓄倉庫	×	×	×	×

※「●…あり」、「×…なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、次のように分類している。

- ・不 要: 上記の対象建物の内、昭和56年6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済: 上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施: 上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

表 自然災害に対する安全性

施設名称	津波浸水	河川浸水	液状化危険度
津田町老人福祉センター	×	○	A
高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	○	○	D
地域福祉センター	○	○	D
行基ハイツ	○	○	D

※津波浸水:「○…浸水区域外」、「×…浸水区域内」を表している。

※液状化危険度「A:極めて高い」、「B:高い」、「C:低い」、「D:かなり低い」を表している。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

平成 24 年度に、4 つの高齢者福祉施設の維持管理や運営に要した行政コストの総額は約 3 千 7 百万円であり、建物の減価償却費を加味したトータルコストは約 8 千万円でした。利用者 1 人あたりの行政コストは平均 868 円です。施設の運営に投じられた行政コストの内訳は指定管理委託料が約 2 千 9 百万円と最も多く、次いで修繕料が約 6 百万円の順になっています。

なお、全ての施設は指定管理で運営されており、市としての収入はありません。

表 施設別の運営コスト（平成 24 年度）

（円）

		津田町老人福祉センター	高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）	地域福祉センター	行基ハイツ	合計
建物に係るコスト（維持管理費等）	燃料費	0	0	0	0	0
	電気代	0	0	0	0	0
	油代	0	0	0	0	0
	ガス代	0	0	0	0	0
	上下水道代	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
	修繕料	0	3,181,500	0	3,084,900	6,266,400
	建物管理委託料	0	0	0	0	0
	賃借料					
	使用料・賃貸料	0	0	0	0	0
	地代	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
	工事費（改修費）	0	0	0	0	0
	公有財産・備品購入費	0	0	0	0	0
	負担金等	0	0	0	0	0
	合計(a)	0	3,181,500	0	3,084,900	6,266,400
事業運営費	常勤職員人件費	527,400	527,400	527,400	527,400	2,109,600
	非常勤職員人件費	0	0	0	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0
	人件費	527,400	527,400	527,400	527,400	2,109,600
	その他	0	0	0	0	0
	合計(b)	527,400	527,400	527,400	527,400	2,109,600
指定管理委託料(c)		1,488,000	11,696,000	936,000	14,830,000	28,950,000
運営コスト(a+b+c)		2,015,400	15,404,900	1,463,400	18,442,300	37,326,000
減価償却費(d)		6,336,000	22,800,000	8,604,000	4,654,420	42,394,420
トータルコスト(a+b+c+d)		8,351,400	38,204,900	10,067,400	23,096,720	79,720,420
行政コスト	指定管理委託料(c)	1,488,000	11,696,000	936,000	14,830,000	28,950,000
	その他行政支出額(a+b)	527,400	3,708,900	527,400	3,612,300	8,376,000
	合計(a+b+c)	2,015,400	15,404,900	1,463,400	18,442,300	37,326,000
年間利用者数(人)		963	20,126	11,689	10,220	42,998
利用者1人当たりの行政コスト(円)		2,093	765	125	1,805	868

※ 正規職員の人件費は一人当たり平均給与費（平成24年、普通会計決算、退職金除く）を適用。

図 全体の運営コストの内訳（平成 24 年）

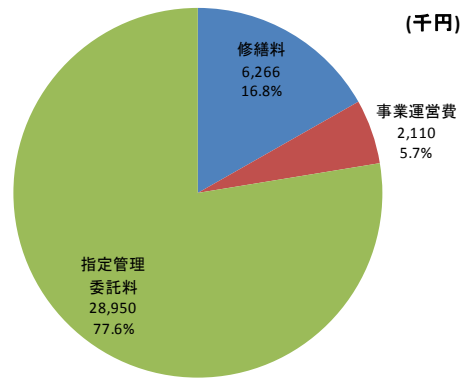
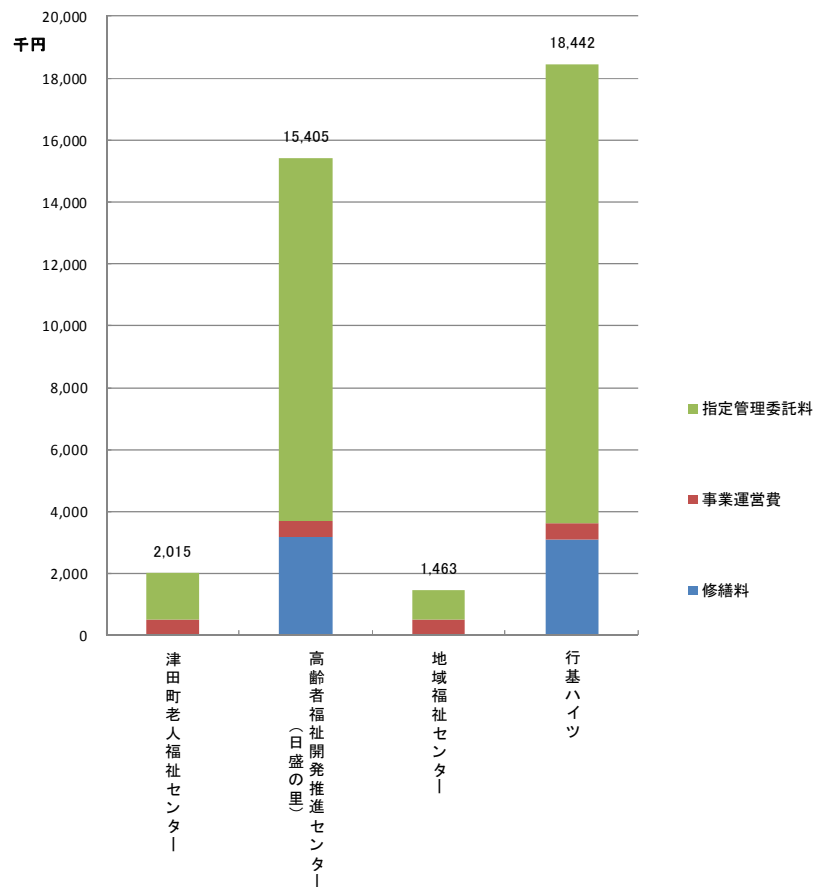


図 施設別の運営コストの内訳（平成 24 年）



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

平成 24 年度に、高齢者福祉施設の運営に要した行政コストの内、建物の維持管理経費は約 6 百万円であり、1 m²あたり平均で 904 円となっています。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（平成 24 年度）

(円)

		津田町老人福祉センター	高齢者福祉開発推進センター(日盛の里)	地域福祉センター	行基ハイツ	合計	平均
延床面積(m ²)		880	3,331	1,195	1,524	6,930	1,802
維持管理経費	光熱水費	0	0	0	0	0 (0.0%)	0
	修繕料	0	3,181,500	0	3,084,900	6,266,400 (100.0%)	1,060,500
	建物管理委託料	0	0	0	0	0 (0.0%)	0
	合計	0	3,181,500	0	3,084,900	6,266,400 (100.0%)	1,060,500
1 m ² 当たりの維持管理経費	光熱水費	0	0	0	0	-	0
	修繕料	0	955	0	2,024	-	904
	建物管理委託料	0	0	0	0	-	0
	合計	0	955	0	2,024	-	904

※平均はいずれも単純平均値を示す。

■ 将来コスト

今後 40 年間で建物の建替えや大規模な改修、および日常の維持管理経費として必要なコストは、約 26 億 1 千万円、年平均で約 7 千万円と見込まれます。

また、今後 10 年間には、築年数の浅い高齢者福祉開発推進センター以外の 3 施設で耐震改修や大規模改修の費用が発生すると見込まれ、約 7 億 2 千万円の投資的経費を確保することが必要となります。

表 施設別の維持に必要なコスト

		(億円)					
		40年間で 必要なコスト	直近10年間で必要なコスト				
			津田町老人福祉 センター	高齢者福祉開発 推進センター (日盛の里)	地域福祉 センター	行基ハイツ	合 計
投 資 的 経 費	大規模改修	13.86	1.76	0.00	2.39	3.05	7.20
	建替え	9.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	耐震改修	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	23.55	1.76	0.00	2.39	3.05	7.20
	(年平均)	(0.59)	(0.18)	(0.00)	(0.24)	(0.31)	(0.72)
維持管理費等		2.51	0.00	0.32	0.00	0.31	0.63
合 計		26.06	1.76	0.32	2.39	3.36	7.83
(年平均)		(0.65)	(0.18)	(0.03)	(0.24)	(0.34)	(0.78)

※上表の値は一定の仮定の基で試算した結果であり、実施年度、金額については実際の値と異なることがある。

図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの内訳

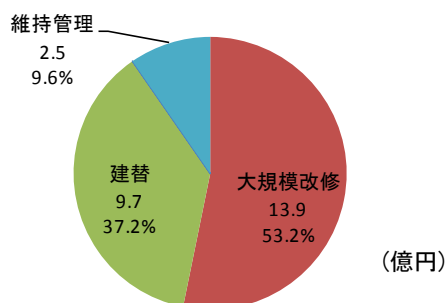
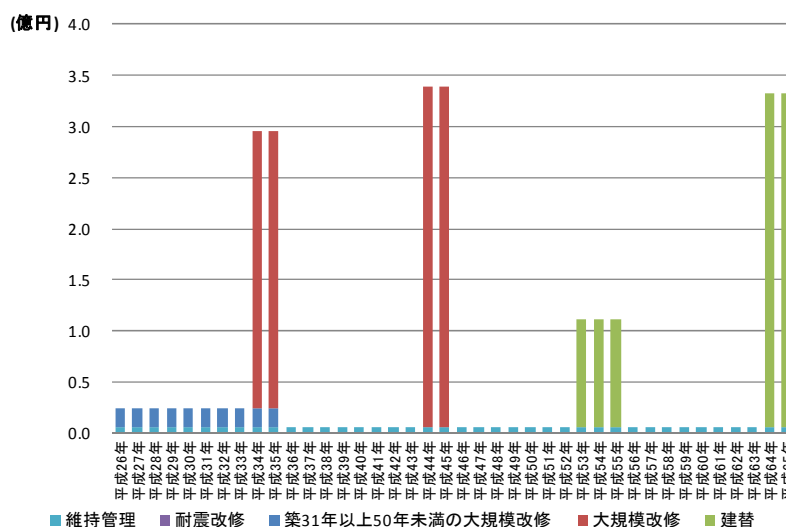


図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※上図の値は一定の仮定の基で試算した結果であり、実施年度、金額については実際の値と異なることがある。

（７）まとめ

■ 建物に関して

築 20～30 年程度経過した施設が多く、継続して活用するために、大規模改修により建物機能の維持・向上を図る必要があります。

■ 利用に関して

今後も高齢者の増加に伴い、要介護・要支援認定者も増加することが予測され、高齢者福祉施設の重要性が増すものと考えられます。市内には公設の高齢者福祉施設以外に、社会福祉法人等の民間が設置・運営する高齢者福祉施設や福祉サービスを行う事業所が多数あり、連携を取りながら高齢者福祉サービスの充実を進めていくことが重要です。

■ 運営に関して

指定管理者制度により運営の効率化が図られていますが、引き続き効率的な運営に努めていく必要があります。

■ コストに関して

今後 10 年間に、多くの施設で改修が必要となると予想されることから、必要性や優先度などを考慮の上、投資額の縮小や平準化を進めていく必要があります。

3. 保健・福祉施設

3-2. 障害者福祉施設

(1) 施設の概要

障害者福祉施設は、障害者への就労の機会の提供、生産活動の機会の提供その他知識及び能力の向上のために必要な支援を行い、もって障害者の福祉の増進を図るための施設です。

■ 保有施設

障害者福祉施設として全 5 施設（延床面積 1,919 m²）を保有しています。旧恵生ノ園以外は全て、就労支援施設です。

表 施設一覧

施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積(m ²)		建築年	経過 年数 ^{※1}	運営方法
真珠の杜しど(旧志度作業所)	旧志度町	長寿障害福祉課	単独施設	238	1,919	平成21年	4	指定管理
恵生ノ園（旧行基苑）	旧長尾町	長寿障害福祉課	単独施設	639		昭和46年	42	指定管理
みなとの家(旧長尾南保育所) ^{※2}	旧長尾町	長寿障害福祉課	単独施設	322		昭和49年	39	直営
旧恵生ノ園(倉庫として使用) ^{※3}	旧長尾町	長寿障害福祉課	単独施設	237		平成4年	21	直営
北原ふれあい会館・きりん園(就労支援施設)	旧津田町	福祉総務課	単独施設	483		昭和48年	40	一部指定管理

※1 経過年数：平成 25 年を基準年として算出している。

※2 特定非営利活動法人「A S Aの会」に使用賃借（H24. 4. 1～）

※3 ①西半分は通称「陶芸創作館」として管理

②東半分は医療法人社団「春熙堂」に賃貸借予定（H26. 4. 1～）

■ 配置状況

障害者福祉施設は、旧志度町、旧津田町、旧長尾町に配置され、このうち、恵生ノ園は、高齢者福祉施設である地域福祉センター・行基ハイツと同じ場所にあります。

図 施設配置

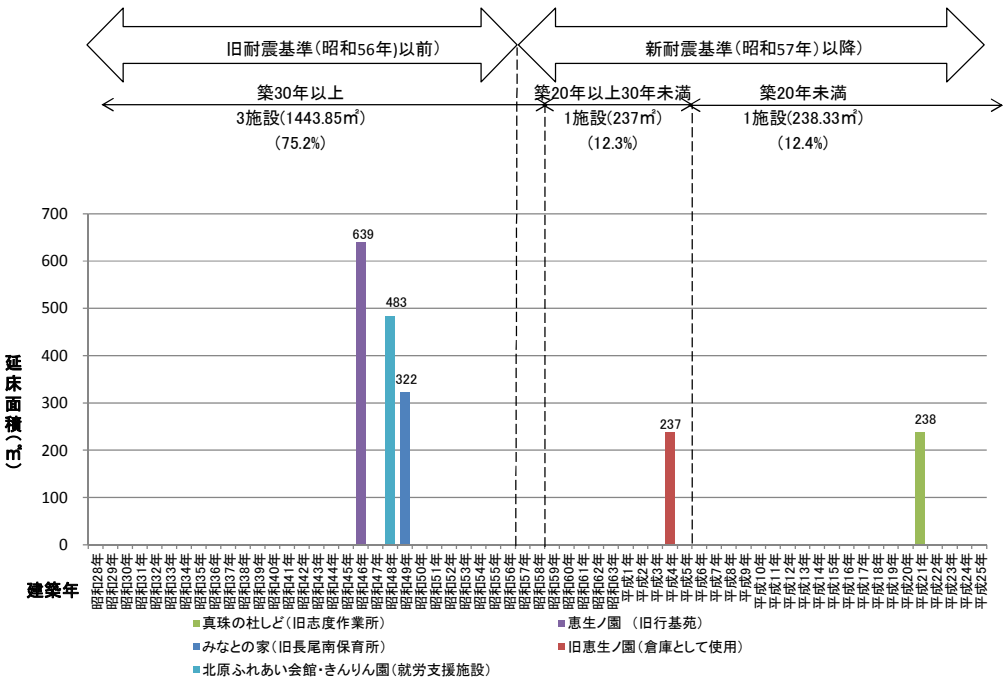


(2) 建物状況

■ 老朽化

ほとんどの施設が、他の施設から転用された建物を活用して設置されており、恵生ノ園、みなとの家、北原ふれあいの家・きんりん園は築30年以上が経過しています。

図 築年別整備状況



■ バリアフリー化、環境負荷低減

バリアフリー化へは一部の施設で対応済みですが、環境負荷を低減させる設備等の導入は進んでいません。

表 機能改善等の状況

		真珠の杜しど (旧志度作業所)	恵生ノ園 (旧行基苑)	みなとの家 (旧長尾南保育所)	旧恵生ノ園 (倉庫として使用)	北原ふれあい会館 ・きんりん園 (就労支援施設)
アスベスト対策		対策が必要	対策が必要	不要	不要	不要
バリアフリー化	身障者用トイレ	●	×	×	×	●
	車いす用スロープ	●	×	×	×	●
	自動ドア	×	×	×	×	×
	手すり	●	×	×	×	×
	点字ブロック	×	×	×	×	×
	車いす用エレベーター	×	×	×	×	×
環境低減負荷	自然エネルギー活用施設	×	×	×	×	×
	屋上緑化・壁面緑化	×	×	×	×	×

※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

(3) 利用状況

■ 利用者数、利用件数

平成 24 年度の障害者福祉施設全体の年間利用者数は、1 万 3 千人でした。

施設別には恵生ノ園が約 4 千 3 百人と最も多く、次いで真珠の杜しど、北原ふれあい会館・きんりん園の順になっています。

表 利用者数・利用件数

施設名称	年間 運営日数	年間 利用者数	1日当たり 利用者数
	日	人	人/日
真珠の杜しど(旧志度作業所)	249	3,760	16
恵生ノ園 (旧行基苑)	245	4,260	18
みなとの家(旧長尾南保育所)	245	1,737	8
旧恵生ノ園(倉庫として使用)	－	0	－
北原ふれあい会館・きんりん園(就労支援施設)	245	3,290	14

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

運営は真珠の杜しど、恵生ノ園、きんりん園では指定管理者制度が導入されていますがその他の施設は直営で運営されています。開館は 8 時 30 分から 17 時 15 分までで、休日は閉館しています。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開館時間	閉館時間
真珠の杜しど(旧志度作業所)	指定管理	249	土・日・祝日・ 年末年始	8:30	17:15
恵生ノ園 (旧行基苑)	指定管理	245	土・日・祝日・ 年末年始	8:30	17:15
みなとの家(旧長尾南保育所)	直営	245	土・日・祝日・ 年末年始	8:30	17:15
旧恵生ノ園(倉庫として使用)	直営	－	－	－	－
北原ふれあい会館・きんりん園(就労支援施設)	きんりん園のみ 指定管理	245	土・日・祝日・ 年末年始	8:30	17:15

■ 運営人員

真珠の杜しどは5人、恵生ノ園は9人、みなとの家では5人、きんりん園は4名の常駐職員等により運営されています。旧恵生ノ園（倉庫として利用）には職員等の常駐はありません。

表 運営人員

施設名	職員 (常勤)	嘱託職員 (非常勤)	臨時職員	委託職員	合計
真珠の杜しど(旧志度作業所)	0.1	0.0	0.0	5.0	5.1
恵生ノ園（旧行基苑）	0.1	0.0	0.0	9.0	9.1
みなとの家(旧長尾南保育所)	0.1	0.0	0.0	5.0	5.1
旧恵生ノ園(倉庫として使用)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
北原ふれあい会館・きんりん園(就労支援施設)	0.1	0.0	0.0	4.0	4.1

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

地域防災計画で避難場所として指定されている施設はありません。昭和 56 年以前に建築された施設は 3 施設のうち、旧長尾南保育所を転用したみなとの家では耐震補強が完了していますが、恵生ノ園ときんりん園は耐震診断が未実施です。

表 防災設備状況

		真珠の杜しど (旧志度作業所)	恵生ノ園 (旧行基苑)	みなとの家 (旧長尾南保育所)	旧恵生ノ園 (倉庫として使用)	北原ふれあい会館・きんりん園 (就労支援施設)
耐震性	耐震診断(1次)	不要	未実施	実施済	不要	未実施
	耐震診断(2次)	不要	未実施	実施済	不要	未実施
	耐震補強	不要	未実施	実施済	不要	未実施
位置計画 区域で防 けの災	避難場所	×	×	×	×	×
	計画収容人数 (人)	—	—	—	—	—
避難場所 機能	代替電源設備	×	×	×	×	×
	通信設備	×	×	×	×	●
	調理設備	×	×	×	×	×
	冷暖房設備	×	×	●	×	×
	入浴施設	×	×	×	×	×
	備蓄倉庫	×	×	×	×	×

※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、次のように分類している。

- ・不 要：上記の対象建物の内、1981 年(昭和 56 年)6 月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

表 自然災害に対する安全性

施設名称	津波浸水	河川浸水	液状化危険度
真珠の杜しど(旧志度作業所)	×	○	A
恵生ノ園(旧行基苑)	○	○	D
みなとの家(旧長尾南保育所)	○	○	A
旧恵生ノ園(倉庫として使用)	○	○	D
北原ふれあい会館・きんりん園 (就労支援施設)	×	×	A

※津波浸水、河川浸水「○・・・浸水区域外」、「×・・・浸水区域内」を表している。

※液状化危険度「A：極めて高い」、「B：高い」、「C：低い」、「D：かなり低い」を表している。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

平成 24 年度に、5 つの障害者福祉施設の維持管理や運営に要した行政コストの総額は約 3 百万円であり、建物の減価償却費を加味したトータルコストは約 1 千 7 百万円でした。利用者 1 人あたりの行政コストは平均 182 円でした。ただこの金額には、障害者自立支援給付費として支払われている就労継続支援サービス費は含まれていません。

行政コストの内訳は人件費を含む事業運営費が約 3 百万円と最も多く、行政コスト全体の 90% を占めています。指定管理委託料は支出されていません。

表 施設別の運営コスト（平成 24 年度）

(円)

		真珠の杜しど (旧志度作業所)	恵生ノ園 (旧行基苑)	みなとの家 (旧長尾南保育所)	旧恵生ノ園 (倉庫として使用)	北原ふれあい会館 ・きりん園 (就労支援施設)	合計
建物に係るコスト (維持管理費等)	燃料費	0	0	0	0	0	0
	光熱水費	電気代	0	0	8,696	0	8,696
		油代	0	0	0	0	0
		ガス代	0	0	0	0	0
		上下水道代	0	0	7,510	0	7,510
		計	0	0	16,206	0	16,206
	修繕料	0	0	266,700	0	0	266,700
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	0
	賃借料	使用料・賃賃料	0	0	0	0	0
		地代	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
	工事費(改修費)	0	0	0	0	0	0
	公有財産・備品購入費	0	0	0	0	0	0
	負担金等	0	0	0	0	0	0
	合計(a)	0	0	266,700	16,206	0	282,906
事業運営費	常勤職員人件費	527,400	527,400	527,400	527,400	527,400	2,637,000
	非常勤職員人件費	0	0	0	0	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0
	人件費	527,400	527,400	527,400	527,400	527,400	2,637,000
	その他	0	0	0	0	0	0
	合計(b)	527,400	527,400	527,400	527,400	527,400	2,637,000
指定管理委託料(c)		0	0	0	0	0	0
運営コスト(a+b+c)		527,400	527,400	794,100	543,606	527,400	2,919,906
減価償却費(d)		1,715,976	4,599,720	2,318,400	1,706,400	3,477,600	13,818,096
トータルコスト(a+b+c+d)		2,243,376	5,127,120	3,112,500	2,250,006	4,005,000	16,738,002
行政コスト	指定管理委託料(c)	0	0	0	0	0	0
	その他行政支出額(a+b)	527,400	527,400	794,100	543,606	527,400	2,919,906
	合計(a+b+c)	527,400	527,400	794,100	543,606	527,400	2,919,906
年間利用者数(人)		3,760	4,260	1,737	0	3,290	13,047
利用者1人当たりの行政コスト(円)		140	124	457	-	160	182

※ 正規職員の人件費は一人当たり平均給与費（平成 24 年、普通会計決算、退職金除く）を適用。

図 全体の運営コストの内訳（平成 24 年）

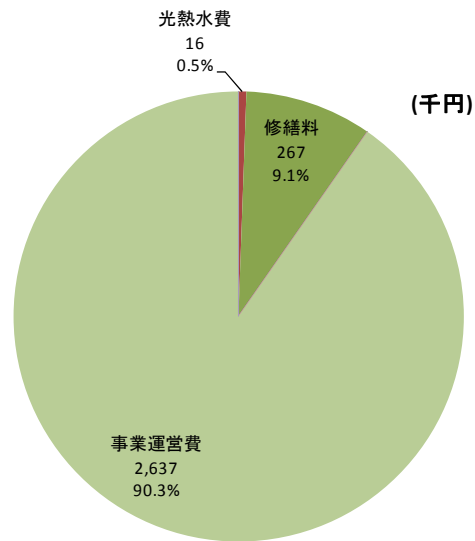
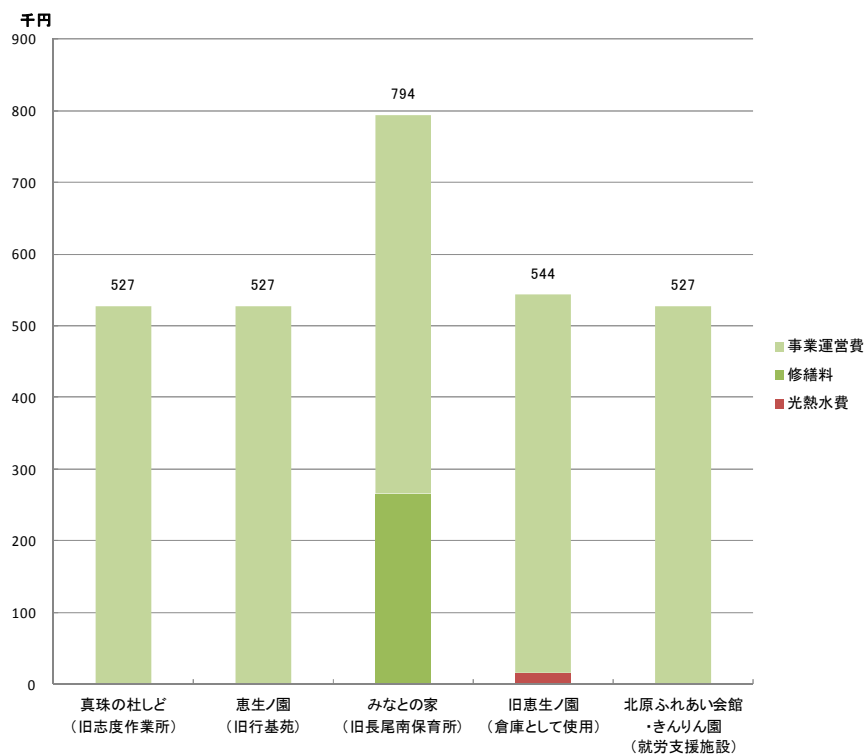


図 施設別の運営コストの内訳（平成 24 年）



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

平成 24 年度に、障害者福祉施設の運営に要した行政コストの内、建物の維持管理経費は約 28 万円であり、1 m²あたり平均で 147 円となっています。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（平成 24 年度）

(円)

		真珠の杜しど (旧志度作業所)	恵生ノ園 (旧行基苑)	みなとの家 (旧長尾南保育所)	旧恵生ノ園 (倉庫として使用)	北原ふれあい会館 ・きんりん園 (就労支援施設)	合計	平均
延床面積(m ²)		238	639	322	237	483	1,919	384
維持管理経費	光熱水費	0	0	0	16,206	0	16,206 (5.7%)	3,241
	修繕料	0	0	266,700	0	0	266,700 (94.3%)	53,340
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	0 (0.0%)	0
	合計	0	0	266,700	16,206	0	282,906 (100.0%)	56,581
維持管理経費の 1 m ² 当たりの	光熱水費	0	0	0	68	0	—	8
	修繕料	0	0	828	0	0	—	139
	建物管理委託料	0	0	0	0	0	—	0
	合計	0	0	828	68	0	—	147

※平均はいずれも単純平均値を示す。

■ 将来コスト

今後 40 年間で建物の建替えや大規模な改修、および日常の維持管理経費として必要なコストは、約 10 億 1 千万円、年平均で約 3 千万円と見込まれます。

また、今後 10 年間には、真珠の杜しど以外の 4 施設で耐震改修や大規模改修の費用が発生すると見込まれ、約 3 億 7 千万円の投資的経費を確保することが必要となります。

表 施設別の維持に必要なコスト

(億円)

		40年間で 必要なコスト	直近10年間で必要なコスト					合 計
			真珠の杜しど (旧志度作業所)	恵生ノ園 (旧行基苑)	みなとの家 (旧長尾南保育所)	旧恵生ノ園 (倉庫として使用)	北原ふれあい会館 ・きんりん園 (就労支援施設)	
投資的 経費	大規模改修	3.84	0.00	1.28	0.64	0.47	0.97	3.36
	建替え	5.77	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	耐震改修	0.34	0.00	0.19	0.00	0.00	0.14	0.33
	計 (年平均)	9.95 (0.25)	0.00 (0.00)	1.47 (0.15)	0.64 (0.06)	0.47 (0.05)	1.11 (0.11)	3.69 (0.37)
維持管理費等		0.11	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.03
合 計 (年平均)		10.06 (0.25)	0.00 (0.00)	1.47 (0.15)	0.67 (0.07)	0.47 (0.05)	1.11 (0.11)	3.72 (0.37)

※上表の値は一定の仮定の基で試算した結果であり、実施年度、金額については実際の値と異なることがある。

図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの内訳

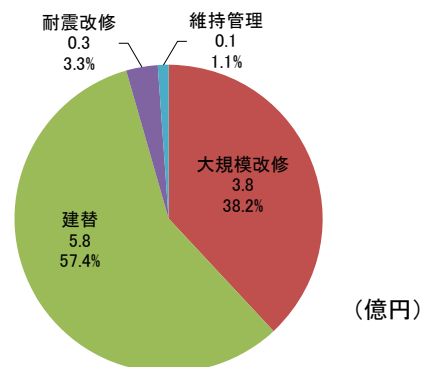
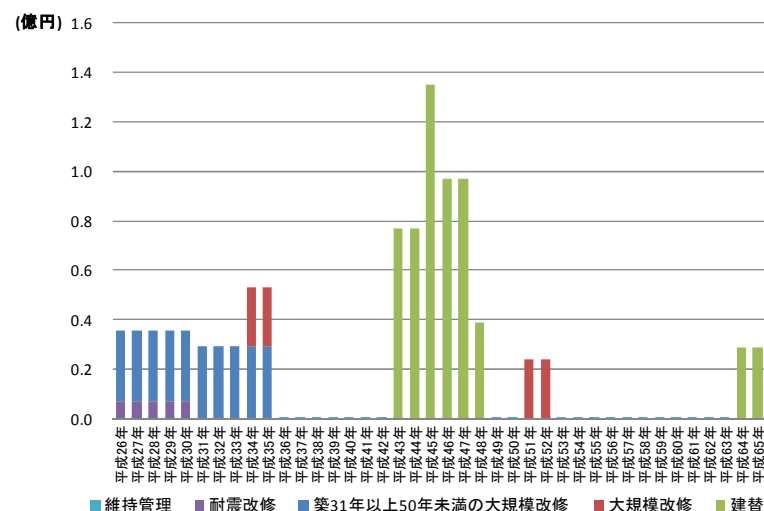


図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※上図の値は一定の仮定の基で試算した結果であり、実施年度、金額については実際の値と異なることがある。

（７）まとめ

■ 建物に関して

ほとんどの障害者福祉施設が、他の施設から用途転用により設置されたものであり、バリアフリー化や耐震性の確保など、本来備えておくべき機能の充実を図っていく必要があります。

特に、築 30 年以上経過して耐震補強が未実施の 2 施設について、優先的に施設のあり方等を検討していく必要があります。

耐震補強ができていない施設	恵生ノ園（旧行基苑）、北原ふれあい会館・きんりん園（就労支援施設）
---------------	-----------------------------------

■ 運営に関して

今後も社会福祉協議会や地域住民と連携をとりながら、効率的な運営に努めていくことが重要です。

■ コストに関して

維持管理や運営に要した行政コストの大半は削減が難しい人件費ですが、設備の省エネ化等のコスト削減や利用者負担の見直しなど、行政コストの削減策の検討が重要です。

また、今後 10 年間に、耐震改修や大規模改修が必要となると予想されることから、各施設に必要な機能や優先度などを考慮の上、投資額の縮小や平準化を進めていく必要があります。

3. 保健・福祉施設

3-3. 保健医療施設

(1) 施設の概要

保健センターは市民の健康保持と、保健意識の向上及び各種検診を行うために設けられた施設です。また、診療所は国民健康保険法に基づき、国民健康保険の被保険者に対し療養の給付を行うためのさぬき市国民健康保険の直営施設です。

なお、さぬき市民病院については診療所と同様に、国民健康保険法に基づくさぬき市国民健康保険の直営施設ですが、公営企業会計の下で独立採算を目指す施設であり、本書では整理の対象としていません。

■ 保有施設

保健センターは4施設（延床面積 2,380 m²）、診療所は2施設（延床面積 1,767 m²）を保有しています。

表 施設一覧

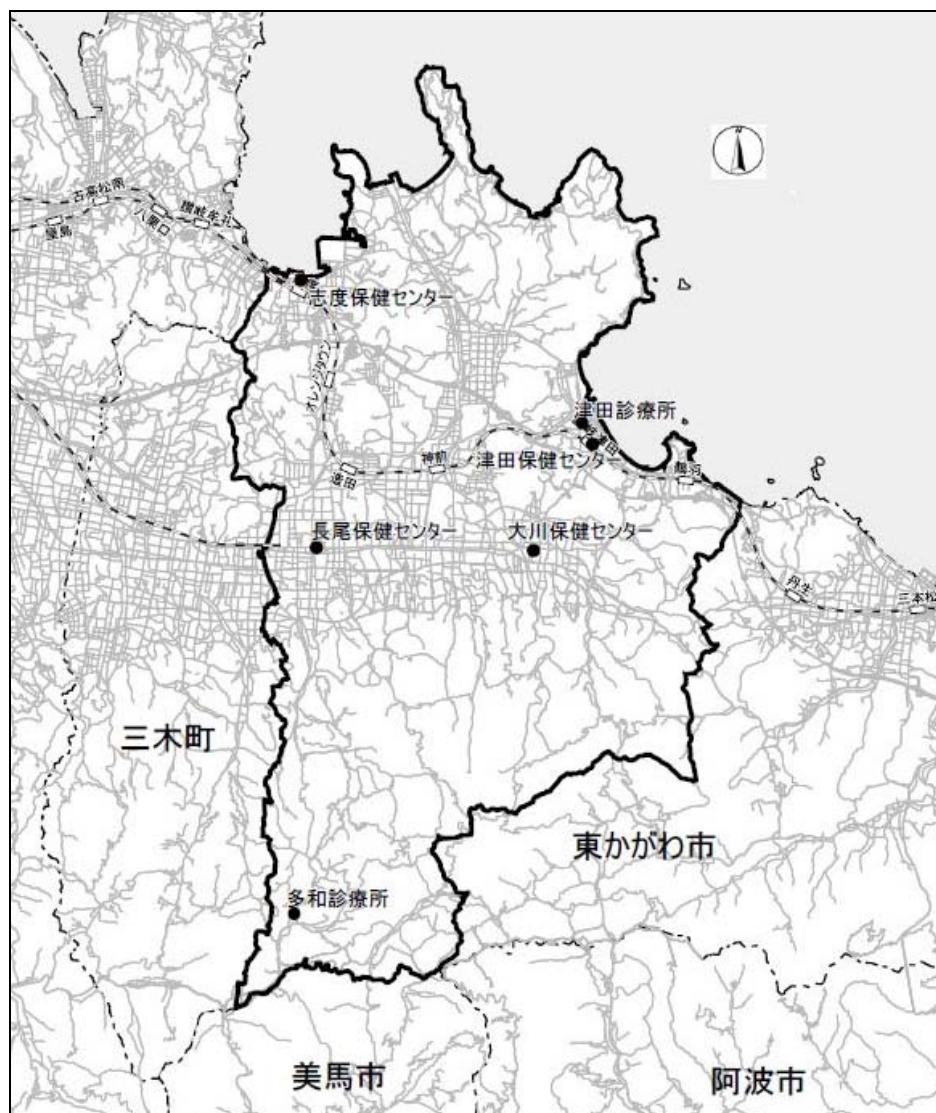
施設名称	地区	所管課	施設形態	延床面積(m ²)		建築年	経過 年数 ^{※1}	運営方法
津田保健センター	旧津田町	国保・健康課	単独施設	1,176	4,147	平成14年	11	直営
津田診療所	旧津田町	津田診療所	単独施設	1,411		平成21年	4	直営
大川保健センター	旧大川町	国保・健康課	単独施設	393		昭和55年	33	直営
志度保健センター	旧志度町	国保・健康課	単独施設	510		昭和54年	34	直営
長尾保健センター	旧長尾町	国保・健康課	単独施設	301		昭和57年	31	直営
多和診療所	旧長尾町	国保・健康課	複合施設(主)【多和出張所(従)と複合】	356		昭和57年	31	直営

※1 経過年数：平成25年を基準年として算出している。

■ 配置状況

保健センターは、旧津田町、旧大川町、旧志度町、旧長尾町の 4 施設、診療所は旧津田町、旧長尾町（多和地区）に 2 施設が配置されています。

図 施設配置

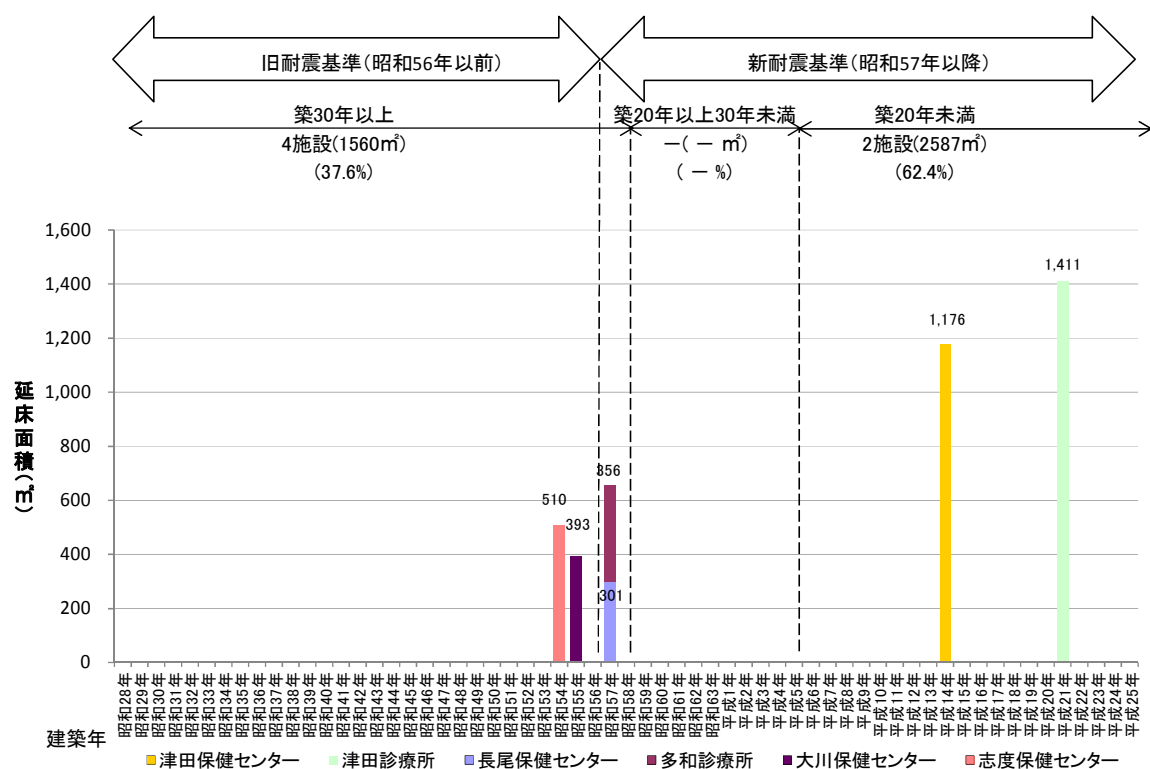


(2) 建物状況

■ 老朽化

津田保健センターと津田診療所は平成 14 年以降に整備された新しい施設ですが、他の 4 施設は築 30 年が経過した施設で老朽化が進行しています。

図 築年別整備状況



■ バリアフリー化、環境負荷低減

大川保健センターには身障者用のトイレが無く、バリアフリー化への対応が遅れていますが、その他の施設では概ね対応済みです。また、環境負荷を低減させる設備等の導入は進んでいます。

表 機能改善等の状況

		津田保健センター	津田診療所	大川保健センター	志度保健センター	長尾保健センター	多和診療所
アスベスト対策		不要	不要	不要	不要	不要	不要
バリアフリー化	身障者用トイレ	●	●	×	●	●	●
	車いす用スロープ	●	×	●	●	●	●
	自動ドア	●	●	●	●	●	×
	手すり	×	●	×	●	×	●
	点字ブロック	●	×	×	▲	×	×
	車いす用エレベーター	●	×	×	●	×	×
環境負荷低減	自然エネルギー活用施設	×	×	×	×	×	×
	屋上緑化・壁面緑化	×	×	×	×	×	×

※ 「●…あり」、「▲…一部設置」、「×…なし」を表している。

(3) 利用状況

■ 利用者数、利用件数

平成 24 年度の保健センター4 施設の年間利用者数は 19,546 人、診療所 2 施設の年間利用者数は 28,995 人でした。津田保健センターと津田診療所の利用者が多くなっています。

表 利用者数・利用件数

施設名称	年間 運営日数	年間 利用者数	1日当たり 利用者数
	日	人	人/日
津田保健センター	245	12,416	51
津田診療所	245	27,761	114
大川保健センター	245	1,263	6
志度保健センター	245	3,165	13
長尾保健センター	245	2,702	12
多和診療所	98	1,234	13

(4) 運営状況

■ 運営方法、運営日数

4つの保健センターは平日の8時30分から22時までの時間帯で、検診や相談、予防接種等の行事がある時のみ、開館しています。津田診療所は平日の8時30分から17時まで毎日開館していますが、多和診療所は週2日、9時から12時までのみ開館しています。

表 運営方法・運営日数

施設名称	運営方法	年間運営日数	定休日(曜日)	開館時間	閉館時間
津田保健センター	直営	245	土日祝日、年末年始	8:30	22:00
津田診療所	直営	245	土日祝日、年末年始	8:30	17:00
大川保健センター	直営	245	土日祝日、年末年始	8:30	22:00
志度保健センター	直営	245	土日祝日、年末年始	8:30	22:00
長尾保健センター	直営	245	土日祝日、年末年始	8:30	22:00
多和診療所	直営	98	日、月、水、金、土、 祝日、年末年始	9:00	12:00

■ 運営人員

運営は全て直営ですが、保健センターでは開館時のみ職員等が出向く対応をとっています。

表 運営人員

施設名	職員 (常勤)	嘱託職員 (非常勤)	臨時職員	委託職員	合計
津田保健センター	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
津田診療所	6.0	3.5	4.0	3.6	17.1
大川保健センター	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
志度保健センター	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
長尾保健センター	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
多和診療所	0.0	1.0	3.0	0.0	4.0

※ 津田診療所では、受付や診療報酬の料金算定業務等を業者に委託しており、上表の委託職員数はその業務に配置している人数を常勤換算したものである。

※ 職員(常勤)の緑色数字は、行政評価調書に基づき按分した人数としている。

(5) 防災状況

■ 防災設備状況

保健センター及び診療所のうち、地域防災計画で避難場所として指定されている施設はありません。

また、大川保健センターと志度保健センターでは耐震診断が未実施です。

設備面では、冷暖房設備が全ての施設に導入済みです。

表 防災設備状況

		津田保健センター	津田診療所	大川保健センター	志度保健センター	長尾保健センター	多和診療所
耐震性	耐震診断(1次)	不要	不要	未実施	未実施	不要	不要
	耐震診断(2次)	不要	不要	未実施	未実施	不要	不要
	耐震補強	不要	不要	未実施	未実施	不要	不要
位置・地域 計画で防 けの災	避難場所	×	×	×	×	×	×
	計画収容人数 (人)	—	—	—	—	—	—
避難場所機能	代替電源設備	×	×	×	×	×	×
	通信設備	×	×	×	×	×	×
	調理設備	●	×	×	×	×	●
	冷暖房設備	●	●	●	●	●	●
	入浴施設	×	×	×	×	×	×
	備蓄倉庫	×	×	×	×	×	×

※ 「●・・・あり」、「×・・・なし」を表している。

※ 耐震性の基準は、次のように分類している。

- ・ 不 要：上記の対象建物の内、昭和56年6月以降建築の建物、又は耐震診断を実施し耐震補強の必要がない建物
- ・ 実施済：上記の対象建物の内、診断・補強を実施した建物
- ・ 未実施：上記の対象建物の内、診断・補強を実施していない建物

■ 自然災害に対する安全性

表 自然災害に対する安全性

施設名称	津波浸水	河川浸水	液状化危険度
津田保健センター	×	○	A
津田診療所	×	×	A
大川保健センター	○	○	A
志度保健センター	×	○	A
長尾保健センター	○	○	A
多和診療所	○	○	D

※津波浸水、河川浸水「○・・・浸水区域外」、「×・・・浸水区域内」を表している。

※液状化危険度「A:極めて高い」、「B:高い」、「C:低い」、「D:かなり低い」を表している。

(6) コスト状況

■ 運営コスト

平成24年度に6つの保健センター及び診療所の維持管理や運営に要した行政コストの総額は約1億5千万円であり、建物の減価償却費を加味したトータルコストは約1億8千万円でした。

行政コストの内訳では人件費を含む事業運営費が約1億2千万円と最も多く全体の76%を占め、工事費（改修費）、光熱水費の順になっています。工事費は多和診療所の移転に伴う費用で、一時的なものです。

利用者1人あたりの行政コストは平均3,152円で、施設別には保健センターが222円から1,036円であることに対して、診療所は4,086円から27,111円（多和診療所の工事費を除くと6,505円）となっています。ただし、診療報酬などの収入を加味すると、津田診療所では約2千2百万円の黒字、多和診療所では約1百万円の赤字（工事費を除く）となっています。

表 施設別の運営コスト（平成24年度）

		(円)							
		津田保健センター	津田診療所	大川保健センター	志度保健センター	長尾保健センター	多和診療所	合計	
建物に係るコスト(維持管理費等)	燃料費		0	0	0	0	0	0	
	光熱水費	電気代	1,804,613	1,818,335	699,157	636,780	260,267	130,217	5,349,369
		油代	0	0	0	0	0	8,199	8,199
		ガス代	55,663	0	24,375	0	12,455	0	92,493
		上下水道代	67,950	145,780	57,728	13,230	54,080	3,107	341,875
	計		1,928,226	1,964,115	781,260	650,010	326,802	141,523	5,791,936
	修繕料		297,549	220,500	0	16,590	6,562	0	541,201
	建物管理委託料		0	1,446,359	0	0	0	3,990	1,450,349
	賃借料	使用料・賃貸料	0	0	0	0	0	0	0
		地代	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0
	工事費(改修費)		0	0	0	0	0	25,427,273	25,427,273
	公有財産・備品購入費		0	1,708,450	0	0	0	703,637	2,412,087
負担金等		0	0	0	0	0	1,153,268	1,153,268	
合計(a)		2,225,775	5,339,424	781,260	666,600	333,364	27,429,691	36,776,114	
事業運営費		常勤職員人件費	527,400	31,644,000	527,400	527,400	527,400	0	33,753,600
		非常勤職員人件費	0	21,855,000	0	0	0	2,516,430	24,371,430
		臨時職員人件費	0	7,895,788	0	0	0	3,508,400	11,404,188
	人件費		527,400	61,394,788	527,400	527,400	527,400	6,024,830	69,529,218
	その他		0	46,701,343	0	0	0	0	46,701,343
	合計(b)		527,400	108,096,131	527,400	527,400	527,400	6,024,830	116,230,561
	指定管理委託料(c)		0	0	0	0	0	0	0
	運営コスト(a+b+c)		2,753,175	113,435,555	1,308,660	1,194,000	860,764	33,454,521	153,006,675
	減価償却費(d)		9,408,000	3,364,024	3,144,000	4,080,000	2,408,000	2,848,000	25,252,024
トータルコスト(a+b+c+d)		12,161,175	116,799,579	4,452,660	5,274,000	3,268,764	36,302,521	178,258,699	
行政コスト	指定管理委託料(c)		0	0	0	0	0	0	
	その他行政支出額(a+b)		2,753,175	113,435,555	1,308,660	1,194,000	860,764	33,454,521	153,006,675
	合計(a+b+c)		2,753,175	113,435,555	1,308,660	1,194,000	860,764	33,454,521	153,006,675
年間利用者数(人)		12,416	27,761	1,263	3,165	2,702	1,234	48,541	
利用者1人当たりの行政コスト(円)		222	4,086	1,036	377	319	27,111	3,152	

- ※ 大川保健センター、大川体育館の建物に係るコストは、大川公民館にて一括計上されたコストを、床面積で按分して計上した。
 ※ 長尾保健センターの建物に係るコストは、長尾公民館にて一括計上されたコストを床面積で按分して計上した。
 ※ 多和診療所の建物に係るコストは、多和出張所も含み一括計上されたコストを、床面積で按分して計上した。
 ※ 正規職員の人件費は一人当たり平均給与費(平成24年、普通会計決算、退職金除く)を適用。

図 全体の運営コストの内訳（平成 24 年）

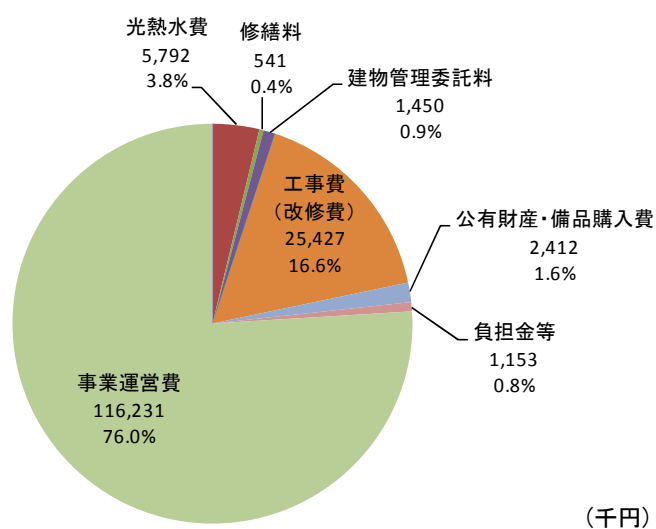


図 施設別の運営コストの内訳（平成 24 年）

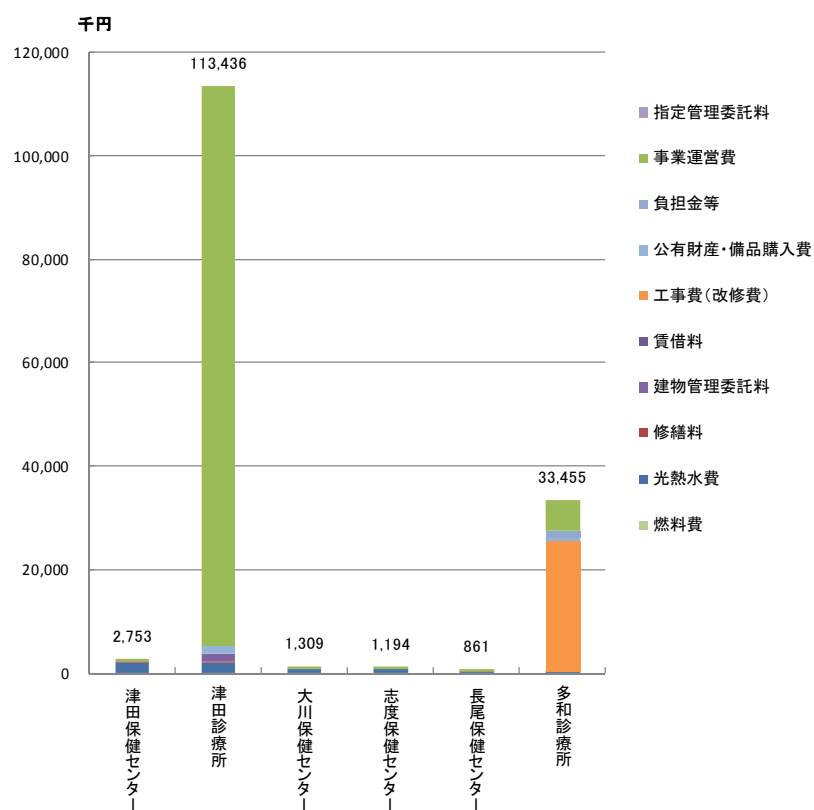


表 施設別の収入（平成 24 年度）

（円）

		津田保健センター	津田診療所	大川保健センター	志度保健センター	長尾保健センター	多和診療所	合計
収入	使用料	0	0	0	0	0	40,000	40,000
	手数料	0	1,029,300	0	0	0	22,050	1,051,350
	その他	0	134,805,878	0	0	0	7,114,905	141,920,783
	計	0	135,835,178	0	0	0	7,176,955	143,012,133

図 全体の収入の内訳（平成 24 年）

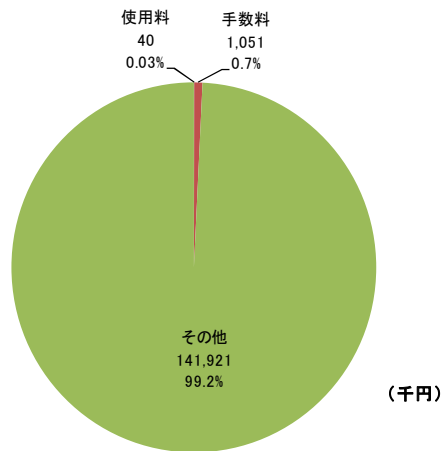
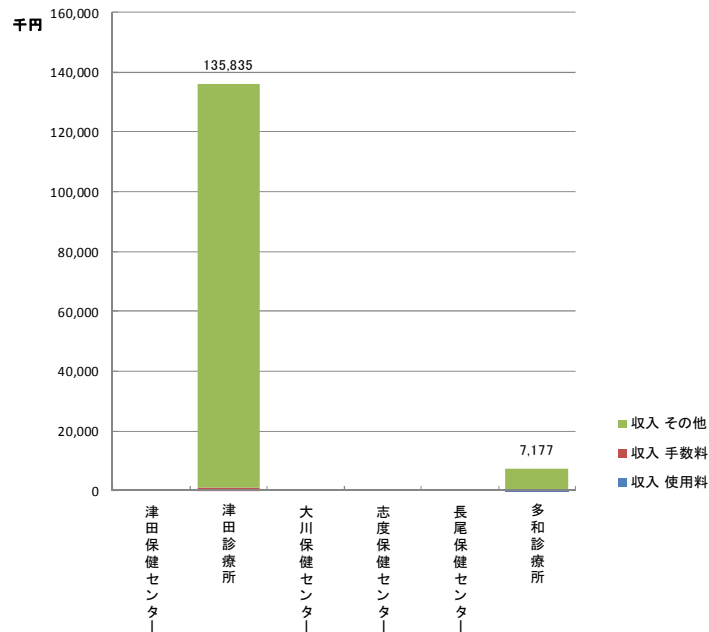


図 施設別の収入の内訳（平成 24 年）



■ 維持管理経費（光熱水費、修繕料、建物管理委託料）

平成 24 年度に、保健センター及び診療所の運営に要した行政コストの内、建物の維持管理経費は約 780 万円であり、1 m²あたり平均で 1,877 円となっています。

表 施設別の 1 m²当たりの維持管理経費（平成 24 年度）

(円)

		津田保健センター	津田診療所	大川保健センター	志度保健センター	長尾保健センター	多和診療所	合計	平均
延床面積 (m ²)		1,176	1,411	393	510	301	356	4,147	691
維持管理経費	光熱水費	1,928,226	1,964,115	781,260	650,010	326,802	141,523	5,791,936 (74.4%)	965,323
	修繕料	297,549	220,500	0	16,590	6,562	0	541,201 (7.0%)	90,200
	建物管理委託料	0	1,446,359	0	0	0	3,990	1,450,349 (18.6%)	241,725
	合計	2,225,775	3,630,974	781,260	666,600	333,364	145,513	7,783,486 (100.0%)	1,297,248
1 m ² 当たり の 維持管理 経費	光熱水費	1,640	1,392	1,988	1,275	1,086	398	-	1,397
	修繕料	253	156	0	33	22	0	-	131
	建物管理委託料	0	1,025	0	0	0	11	-	350
	合計	1,893	2,573	1,988	1,307	1,108	409	-	1,877

※平均はいずれも単純平均値を示す。

■ 将来コスト

今後 40 年間で建物の建替えや大規模な改修、および日常の維持管理経費として必要なコストは、約 20 億 5 千万円、年平均で約 5 千万円と見込まれます。

また、今後 10 年間には、4 か所の施設で耐震改修や大規模改修の費用が発生すると見込まれ、約 4 億 2 千万円の投資的経費を確保することが必要となります。

表 施設別の維持に必要なコスト

(億円)

		40年間で 必要なコスト	直近10年間で必要なコスト						合 計
			津田保健 センター	津田診療所	大川保健 センター	志度保健 センター	長尾保健 センター	多和診療所	
投資的 経費	大規模改修	10.37	0.00	0.00	0.98	1.28	0.75	0.89	3.90
	建替え	6.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	耐震改修	0.27	0.00	0.00	0.12	0.15	0.00	0.00	0.27
	計 (年平均)	16.88 (0.42)	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)	1.10 (0.11)	1.43 (0.14)	0.75 (0.08)	0.89 (0.09)	4.17 (0.42)
維持管理費等		3.61	0.22	0.53	0.08	0.07	0.03	2.74	3.67
合 計 (年平均)		20.49 (0.51)	0.22 (0.02)	0.53 (0.05)	1.18 (0.12)	1.50 (0.15)	0.78 (0.08)	3.63 (0.36)	7.84 (0.78)

※上表の値は一定の仮定の基で試算した結果であり、実施年度、金額については実際の値と異なることがある。

図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの内訳

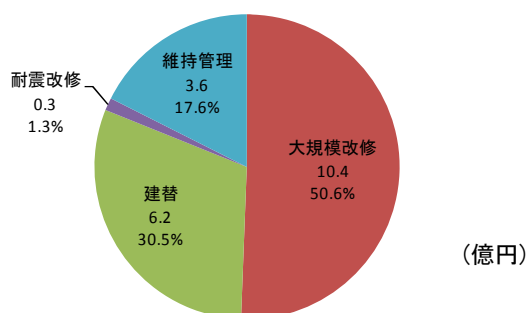
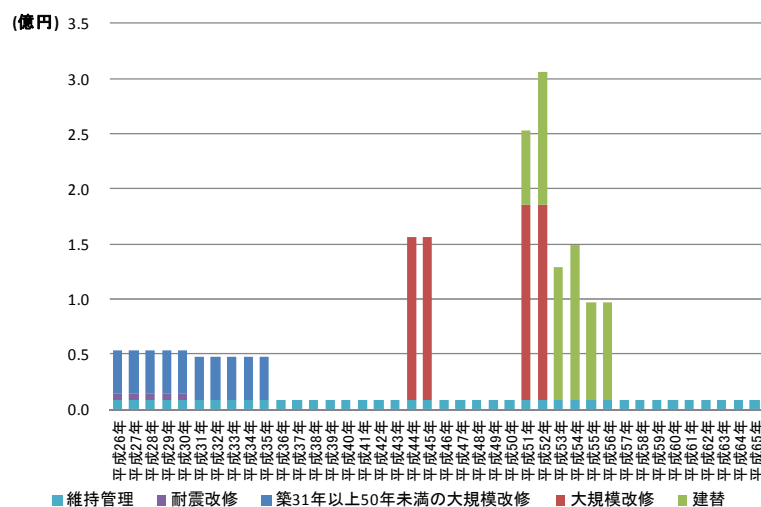


図 今後 40 年間で施設の維持に必要なコストの年別推計結果



※上図の値は一定の仮定の基で試算した結果であり、実施年度、金額については実際の値と異なることがある。

（７）まとめ

■ 建物に関して

築 30 年以上経過した施設が 4 施設あり、継続して活用するために、大規模改修により建物機能の維持・向上を図るとともに、耐震診断等による安全対策を進めていく必要があります。

特に、築 30 年以上経過して耐震補強が未実施の 2 施設について、優先的に施設のあり方等を検討していく必要があります。

耐震補強ができていない施設	大川保健センター、志度保健センター
---------------	-------------------

■ 利用に関して

保健センターも診療所も市民生活に必要なサービスを提供していますが、津田保健センターと津田診療所を除く他の施設では稼働率が低く、他の施設の活用など、効率化を進めていく余地があります。

■ 運営に関して

保健センターは、職員が事務室などに常時配置されておらず、施設の使用時だけ対応するなど、効率的な運営が行われています。

■ コストに関して

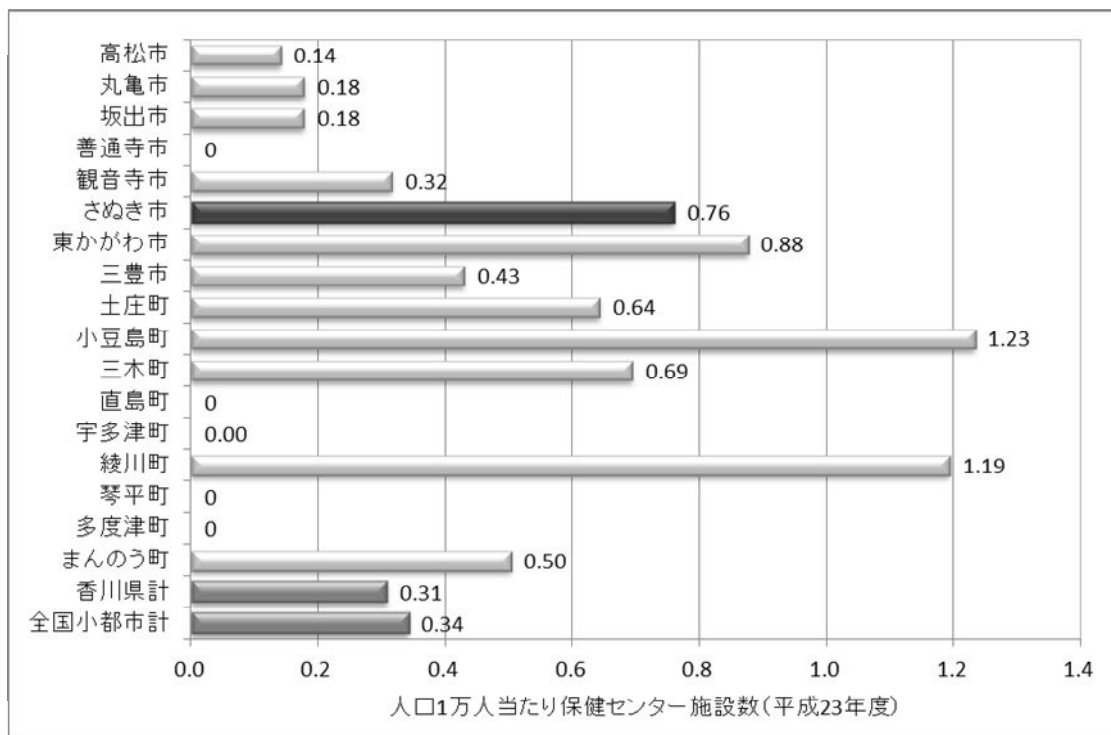
診療所は 2 つの合計では黒字ですが、引き続き効率的な運営に努めていく必要があります。

また、保健センターでは今後大規模改修が必要となる施設もあることから、他の施設の有効活用など、投資的経費の削減策を検討する余地があります。

■ 保健センターの保有水準

さぬき市の保健センターは合併前に使われていた施設をそのまま継承しているため、4 施設、人口 1 万人当たり 0.76 施設となり、県平均（0.31 施設）、全国小都市平均（0.34 施設）の 2 倍程度の水準にあります。

老朽化が進んだ保健センターについて、限られた人的資源や財源といった制約の中で、住民アクセスを考慮の上、統廃合について検討を進めていく必要があります。



	人口	施設数	人口1万人当たり
高松市	424,490	6	0.14
丸亀市	112,173	2	0.18
坂出市	56,351	1	0.18
善通寺市	33,419	—	—
観音寺市	63,349	2	0.32
さぬき市	52,637	4	0.76
東かがわ市	34,243	3	0.88
三豊市	69,812	3	0.43
土庄町	15,557	1	0.64
小豆島町	16,221	2	1.23
三木町	28,809	2	0.69
直島町	3,223	—	—
宇多津町	17,549	1	0.00
綾川町	25,150	3	1.19
琴平町	10,060	—	—
多度津町	23,590	—	—
まんのう町	19,855	1	0.50
香川県計	1,006,488	31	0.31
全国小都市計	27,365,324	936	0.34

出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成24年3月31日現在）、
公共施設状況調経年比較表（総務省）

注1：小都市は人口10万人未満の市（520都市）